

## 2026年(令和8年)度入学者選抜【出題意図】

選抜区分	実施日	科目
一般選抜 中期	2026年2月27日(金)	国語

第1問	労働と道徳の歴史的結びつきを多角的に考察した木澤佐登志の評論文を出題しています。各問は、筆者の主張の理由や根拠を的確に説明する記述力、著者の論理展開を粘り強くたどり、要点を的確に説明する記述力、文章の要旨を正確に読み取る力、文脈に適した語句を抜き出す力、および基本的な漢字や語句に関する知識を身につけているかを確認することを目的としています。
第2問	日本の高校生の科学に対する意識調査をもとに、社会における理科の必要性や受験制度の課題を論じた冷泉彰彦の文章を出題しています。本設問を通じて、客観的なデータに基づく現状分析と筆者の主張を論理的に理解する能力を測定します。各問は、筆者の主張の理由や背景を的確に説明する記述力、文中の比喩的表現(「張り子の虎」など)の意図を把握する力、本文の内容との合致や論理構成を正確に判断する力、および基本的な漢字や語句に関する知識を身につけているかを確認することを目的としています。